国土交通省

ＩＣＴ建機普及促進へ
認定制度の創設検討を

国土交通省は、建設工事におけるＩＣＴ建設機械の普及促進を図るため、認定制度創設の検討に乗り出す。中小規模工事に対応したＩＣＴ建機の拡大に向け、従来型の建機に後付け型で装着可能なシステムの開発・実装が進んでいることもあり、ＩＣＴ建機を認定し、認定機械の活用を支援することで、建設工事での普及促進とともに企業の設備投資や新たな機械の開発を促す狙いがある。具体的な制度の内容に関しては、関係業界からの意見・要望も聞きながらインセンティブの在り方も含めて今後、本格的に検討していく。

ＩＣＴ施工の実施には測量から施工、検査に至る工程全体をＩＣＴ化することが必要となるが、ＩＣＴ建機の普及率は低く、特に中小企業における活用が進んでいない状況にある。例えばバックホウの保有台数は建設分野で約16・4万台あるものの、0・2立方㍍級以上のバックホウでもＩＣＴバックホウの割合は約5％にとどまる。保有割合は建設業が33％で、レンタル業が67％となっており、このうちＩＣＴバックホウの割合は建設業が約0・3％、レンタル業が約4・7％。

ＩＣＴ施工を取り入れた建設現場では、従来施工と比較して作業時間が約3割縮減するなど、生産性向上の効果が確認されているため、ＩＣＴ建機の活用が進むことで企業の設備投資や機械の新規開発が促され、関連企業が成長する効果も期待している

一般的なＩＣＴ建設機械としては、バックホウ、ブルドーザ、振動ローラ、モータグレーダなどの土工機械のほか、路面切削機、地盤改良機などがある。新たな認定制度では測量機器も含めた検討を視野に入れている。

県スポーツ局

21年度施設整備事業

県スポーツ局の2021年度施設整備事業は、武道館改修に向けた基本・実施設計、スポーツセンター通信環境整備、山岳スポーツセンター防護柵等設置など。概要は次のとおり（単位千円）。

▽武道館改修基本・実施設計（横浜市港北区岸根町）四九、一〇〇

・施設の老朽化対策と冷暖房設備に係る基本・実施設計

▽スポーツセンター通信環境整備（藤沢市善行）五六、〇〇〇

Ｗｉ－Ｆｉ整備

▽山岳スポーツセンター防護柵設置（秦野市戸川）一六、七〇〇

・施設の周囲に設置

CCUS

2月末で技能者の登録は48・5万人に

建設業振興基金は、建設キャリアアップシステム（ＣＣＵＳ）における2月28日現在の登録数の累計が、技能者（現住所）は48万5822人、事業者（所在地）は9万5369社になったことを明らかにした。

技能者の登録数上位は1位が東京都（5万2822人）、2位が神奈川県（3万7564人）、3位が埼玉県（3万5126人）、4位が大阪府（3万4792人）、5位が愛知県（3万2237人）、6位が千葉県（3万1818人）と続く。

事業者の登録数上位は1位が東京都（1万2426社）、2位が大阪府（8069社）、3位が愛知県（7979社）、4位が神奈川県（7573社）、5位が埼玉県（6634社）、6位が千葉県（4990社）となる。

ＣＣＵＳに関しては、技能者登録をより簡単に行えるよう、4月から技能者のインターネット申請は「簡略型」と従来通りの「詳細型」が選択可能となる。また申請から登録までの所要日数の目安にしてもらうため、今月より技能者登録・事業者登録のインターネット申請状況の公表も開始し、申請日別に審査状況の集計を数値で示すことにしている。

横浜市

市民まち普請事業
地域交流拠点づくり

横浜市は、まちづくりの提案に対して最大500万円の助成を行うヨコハマ市民まち普請事業で、3提案が整備助成対象として決定した。

この事業は、地域の課題解決や魅力向上のための施設整備に関する提案を募集し、二段階の公開コンテストで選考された提案に対し整備助成金を交付し、市民が主体となったまちづくりを支援する。今後、グループ自らの整備により、まちづくりの提案を具体化していく。

提案内容は、▽水と火を提供する地域交流拠点、▽車椅子も利用できる交流拠点、▽古い空き家を改築し、家族食堂など多世代交流拠点―の3件。整備には地元建設業が参画している。

ご意見、お問い合わせは横浜本社まで
電話〇四五(252)二七〇〇

大和建設業協会

大和市へ飛沫ガードを寄贈

大和建設業協会（古川賢一会長）は5日、大和市役所を訪問し、飛沫ガードを30セット寄贈した。

同協会では社会貢献活動の一環で防災訓練、清掃活動などを毎年実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためいずれも活動が中止になってしまった。こうした中、古川会長は、「協会として何か貢献活動ができないか考えた結果、今回、ワクチン接種も始まることから、ウイルス感染防止対策用の飛沫ガードを寄付することにした」と理由を話す。飛沫ガードはアルミ製（高さ80㌢㍍　幅1㍍）で軽くて色々な会場で安全に使用できる。また、議場などでも使用できる飛沫スクリーンの要望があったことから、「お役に立てる様、飛沫スクリーン（高さ2㍍、幅1.8㍍）のサンプルも別途持参したい」と述べた。

この日、協会の古川会長（**右から2人目**）をはじめ、根本勇副会長（**右端**）、宮島和重副会長（**左端**）らが同市を訪れ、大木哲市長（**左から2人目**）に目録を手渡した。

鎌倉市

梶原4丁目用地（野村総研跡地）

次点のアイネットと協議
優先交渉権者辞退受け

鎌倉市は、梶原4丁目用地（野村総合研究所跡地）の利活用事業者について、優先交渉権者の辞退を受け、次点交渉権者のアイネット（横浜市西区）に基本協定締結に向けて、協議の申し入れを行っていたが5日、申し入れに応じるとの回答を得たと明らかにした。

野村総合研究所跡地は、175、388平方㍍（実測面積）の広さ。このうち139、000平方㍍が市街化調整区域で緑が多くを占める。敷地内には、いずれも鉄筋コンクリート造陸屋根の5階建て、延べ面積7、209平方㍍の本館、同3階建て、延べ面積3、029平方㍍の生物化学研究所新館、同5階建て、延べ面積4、283平方㍍の生物化学研究所等の建物がある。いずれも老朽化が進んでいるため、立ち入り禁止となっている。一方、グラウンドは開放され、散策路はハイキング等に利用されている。

優先交渉権者の提案は、美術館と研究所の複合施設のほか、一般開放に向け、トイレの設置やハイキングコースの整備などを行うというものだったが、・コロナウイルスの影響が想定以上に拡大・長期化したことの影響で、出資者の確保が困難になったことを理由に、先月24日、基本協定締結の前に辞退となった。

市は、次点交渉権者と基本協定に向けて協議を速やかに開始し、事業スケジュール等を確認したいとする。

よいキカイ・よいサービス
㈱旭建機
TEL045(941)3333
TEL045(984)3356

2月の倒産、建設業3件
東京商工リサーチ横浜支店

東京商工リサーチ横浜支店はこのほど、2月の県内企業の倒産状況（負債総額1、000万円以上）を明らかにした。建設業は3件、負債総額3億5、600万円だった。前年同月比では3件の減少、3億1、800万円の減少だった。なお、全体では27件、負債総額53億7、700万円だった。前年同月比2件の減少、33億8、900万円の増加だ。これは負債額10億円以上の大型倒産（1件）によるもの。

全体の原因別では、販売不振が15件（55・6％）と、既往のシワ寄せが11件（構成比40・7％）で、いわゆる不況型倒産が大半を占めている。

今後について同支店では、「コロナ禍で、売上や利益が減少した企業のセーフティーネット貸付は中小企業の資金繰りを支える大きな役割を果たしている。ただし、売上の回復や生産性の向上がなければ、過剰債務になる可能性がある。今後は、コロナ禍の収束を見据え、企業の存続と成長に向けて、国と企業が一体となった取り組みが求められる」と見る。

大磯町

新庁舎整備基本構想策定業務
梓設計に決定

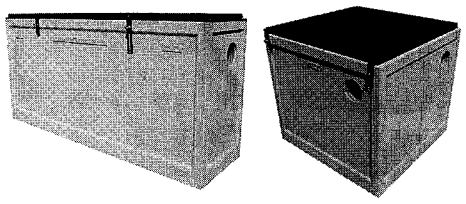
大磯町は5日、公募型プロポーザル方式により選定を進めてきた新庁舎整備基本構想策定業務について、梓設計を受託候補者として決定した。町の入札参加名簿に「コンサル（建築設計）」で登録されている者で、2008年（平成20年）以降に、国または地方公共団体等の庁舎建設に係る基本構想または基本企画策定に関する業務実績を条件に募集し、2者が参加した。

大磯町の現庁舎は、1971年（昭和46年）の建築で、ＲＣ造地下1階地上5階建て、延べ面積3、869平方㍍の構造・規模。2001～02年度にかけて耐震改修を行っているが、緊急対策の工事で、構造耐震指標（Ｉs値）が0・6を上回っていない階層があり、築49年が経ち、老朽化も著しい。

新庁舎は、用地交渉の時間や用地費の購入による事業費が増加するなどの理由から、現地建替えで検討を進めている。事業方式は、ＰＦＩ等の民活も選択肢とするなか、従来方式の「設計・施工分離方式」を推す。事業費は24・5億円から25・8億円と試算する。

業務は、庁舎に導入する機能の検討、整理を始め、事業スキームの検討、概算事業費の算出、検討委への支援、町民アンケートの実施のほか、津波シミュレーションの実施等。履行期間は契約締結日から22年3月18日まで。

日建リース工業株式会社　代理店
次世代足場 ダーウィン枠組・クサビ・単管足場
多種多様な技術かつ多角的視点で
熱意をもって遂行いたします。
株式会社 フクザワ
代表取締役 福澤 潤
本社 横浜市旭区南本宿町117－1
TEL 045(352)1482 FAX 045(352)1480
E-mail fz-919@fukuzawa-co.jp

OK式油水分離槽
自然にやさしいきれいな水にします

既製品 4連式 底付　既製品 田の字 底付
■より安全につかいやすく
施工業者様、メンテナンス業者様の使いやすさと環境にこだわりました。
■油の浮上効果が高い
槽内の滞留距離を長くとったため、油の浮上を効果的に得る事が出来ます。
■豊富な実績
工期の大幅短縮、経済性、耐久性により、すでに数千ヶ所のガソリンスタンド、駐車場、工場などで実績があり高い信頼を得ています。
Oike Quality is all.
株式会社オーイケ
URL【オーイケ】で検索　E-mail info@ooike.net
本社 TEL0263-98-2238　岐阜営業所 TEL0574-60-1586
群馬営業所 TEL027-380-1780　東京営業所 TEL03-5657-1281